

○ 関東145号

1. 来歴

- 1) 系統名 関東145号 (旧系統名 作系47)
- 2) 交配組合せ 谷系29 × 関東121号
- 3) 用途 青果など

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性は中。いもの皮色は濃赤紫、肉色は濃黄である。いもの形状は紡錘形で揃いはやや整、大小は中で、揃いはやや整である。条溝は無、皮脈と裂開は微で、外観はやや上である。上いも重はマルチ早掘栽培、マルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」並みである。蒸しいもの肉色は濃黄で、肉質は粉、調理後の黒変は少、食味はやや上である。病虫害抵抗性は、サツマイモネコブセンチュウは強、立枯病に弱、つる割れ病に中、黒斑病にやや強(単年度)である。貯蔵性は難である。本系統は、外観が優れ、病虫害複合抵抗性を持ち、肉質が粉で食味が良いことから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績(平成27年度)

① マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重(kg/a)	対標準比(%)	上いも1個重(g)	1株上いも数	切干歩合(%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	黒変	食味
関東145号	214	107	186	2.9	34.0	やや上	濃赤紫	紡	濃黄	粉	やや少	少	やや上
標)ベニアズマ	200	100	194	2.6	35.7	中	濃赤紫	長紡	黄	粉	中	やや多	やや上
比)高系14号	206	103	192	2.7	30.8	中	赤紫	紡	淡黄白	中	やや少	やや少	中

② マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重(kg/a)	対標準比(%)	上いも1個重(g)	1株上いも数	切干歩合(%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	黒変	食味
関東145号	166	96	136	3.2	36.0	やや上	濃赤紫	短紡	黄	粉	やや少	少	中～やや上
標)ベニアズマ	173	100	193	2.2	38.9	中	濃赤紫	紡	黄	粉	やや少	やや多	やや上
比)高系14号	198	115	225	2.2	33.4	中	赤紫	紡	黄白	中	少	少	中

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性(育成地)				
	萌芽性	貯蔵性(H26)	ネコブセンチュウ		立枯病(香取)	つる割れ病	黒斑病
			場内(谷和原)	現地(香取)			
関東145号	中	難	強	強	弱	中	やや強
ベニアズマ	中	難	中	中	やや強	中	中
高系14号	やや不良	やや易	やや弱	中	弱	中	中